

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	社会
----	----

発行者略称	発行者番号	教科書の記号・番号	教科書名	調査結果の概要
東書	2	社会 301 401 501 502 601 602	新しい社会3 新しい社会4 新しい社会5 新しい社会6 上・下 政治・ 国際編 歴史編	<ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ→調べる→まとめる」と学習の流れが明確になっており、子どもたちにとっても学習の仕方がわかりやすい。主体的・対話的な学びへと発展させやすい工夫がなされている。 ・QRコードにより、深い学びができるよう工夫され、その内容も充実している。また、教科書の「学び方コーナー」では学習を深めるためのヒントが書かれている。 ・単元終わりのまとめのページでは、教科書に記述式で自分の考えをまとめさせる部分が多く、表現力の定着を図る意図が見える。 ・グラフ、写真、地図の関係がわかりやすく提示されている。例えば、5年上 P46では、グラフと地図が線で結ばれており、見やすく、理解しやすい。 ・5、6年用ともに、分冊となっており、軽く手に取りやすい。分冊にしていない3、4年用は、選択ページを少なくするなど、できるだけコンパクトにしている。重さの負担を軽減する配慮が感じられる。 ・全ての学年において、最初に前学年の振り返り、最後に本学年の振り返りページが設けられ、系統・発展を意識した工夫が見られる。 ・基本的に字体はオーソドックスな書体であるとともに、大きめなので見やすい。小見出しや重要語句についてはゴシック体で強調してあるのでわかりやすい。紙質が良く、書き込みにも適している。 ・「奈良の大仏」を絵で示しており、写真がない。 ・銀閣の扱いが大きく、金閣は小さい。 ・3武将の比較ではなく家康を除いた2武将の比較となっている。 ・太平洋戦争の単元の導入には、終戦の広島の写真を使っている。 ・南京占領については、キャラクターがまとめたノートの中(P131)で、触れている。 ・5年(P84～)で姫路、城崎、3年(P124)で明石を扱っており、児童の興味・関心を引きやすい。

発行者略称	発行者番号	教科書の記号・番号	教科書名	調査結果の概要
教 出	1 7	社会 303 403 503 603	小学社会 3 4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きのページごとに、左上「この時間の問い」から始まり、「かつどう」欄を経て、右下「次につなげよう」欄へと進むように、構成されている。学習方法を定着させやすく、主体的・対話的な学びへと発展できるよう工夫されている。 ・単元終わりのページでは、空欄に重要語句を書き込ませるパターンが多く、キーワードの定着を図る工夫が見られる。 ・6年最初の単元では「ともに生きる暮らしと政治」と題して、オリンピック・パラリンピック、バリアフリーを導入している。また、6年「世界の中の日本」での導入として、オリンピック・パラリンピックを2ページにわたって取り上げている。平和的な共生社会を目指す態度を養うための工夫が感じられる。 ・(P232)以降の4国紹介ページでは、インデックスを使って見やすい工夫がされている。また、5年の「領土問題」については、2ページにわたって、詳しく説明されている。 ・4年用では選択ページが多いため、いろいろな学習に対応できるものの、その分やや重くなっている。 ・どの学年の教科書にも、最初に前学年の振り返り、最後に本学年の振り返りページが設けられ、系統・発展を意識した工夫が見られる。 ・5年(P12)、(P13)「日本の国土のすがた」では、真ん中の大きな写真、周りの4枚の写真とも共通の航空写真を使っており見やすくわかりやすい。 ・字体は非常にはっきりしており見やすいが、少し太めにしてある大事な言葉はわかりにくい。 ・ページをめくりやすくするためか、ザラザラ感が感じられる紙質である。 ・銀閣を大きく取り上げている一方で、金閣の取り扱いは小さい。 ・太平洋戦争の導入に東京大空襲の写真を使っている。 ・南京占領については、地図下の説明の中で述べている。(P203) ・「どんぐりと戦争」(P209)の説明がある。 ・3年「店ではたらく人と仕事」(P48)において、レシートに触れており、現実的な流通について注目させている。

発行者略称	発行者番号	教科書の記号・番号	教科書名	調査結果の概要
日 文	1 1 6	社会 304 404 504 604	小学社会 3年 4年 5年 6年	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル資料のウェブページはあるが、QRコードがないので調べにくい。 ・グラフ、写真、地図の関係がわかりにくい部分がある。例えば5年（P25）でグラフと地図を対応させるのが難しい。グラフ下の地名もわかりにくく、混乱を招くと思われる。 ・3年（P107）のグラフが棒ではなく○と◇である。○が100人、◇が1人のグラフを横に並べているので、数感覚の勘違いが起こる可能性がある。 ・見開きで左右対称に大きな写真や挿絵を使って、比較しやすい工夫がされている。例えば（P112）の金閣と（P113）の銀閣、（P160）の江戸時代末期と（P161）の明治時代などは見開きで載せており、比較しやすい工夫がされている。 ・6年「世界の中の日本とわたしたち」で、（P232）以降どこの国が出てくるのか、どこまでが区切りなのかがわかりにくい。 ・5年の領土問題についての表記は、一番少なくなっている。（P16） ・「寒い土地の暮らし（北海道）」の中で、アイヌ文化の表記がない。 ・「水産業」の単元で、200海里水域の説明がない。 ・前学年の振り返り、最後に本学年の振り返りページが設けられていない。 ・6年用は小さくやや見にくい感がある。 ・紙質は良く、ページもめくりやすい。 ・トピックスを「学習資料」という部分で紹介しているのがわかりやすい。 ・太平洋戦争の単元は、出来事の順に説明している。 ・南京占領については、欄外の解説で説明している。「ナンキン事件」という文言を使っている。（P200） ・姫路（3年P8）、ヤマサかまぼこ（3年P46）、マックスバリュ（3年P66）等、身近なところを取り上げており、児童が興味を向けやすい。

